

ヒマラヤの大自然の中で繰り広げる、
感動のヒューマンドキュメンタリー映画

世界でいちばん美しい村

壮大なヒマラヤの大自然を舞台に
そこで暮らす家族の絆を描いた叙事詩的巨編

監督・撮影:石川梵
ナレーター:倍賞千恵子

諏訪市公民館・日本・ネパール会長野共催事業

「世界でいちばん美しい村」 監督特別トーク&上映会



石川梵監督

現在も日本ばかりでなく世界各地で大きな災害が起きています。災害当初、人々は被災者を思い行動を起こしますが、次第に次々と起こる別の災害へと関心は移っていきます。一方で忘れ去られた被災者は、その場所で生活し希望を絶やさず生きています。「世界でいちばん美しい村」を制作したドキュメンタリー作家で写真家の石川梵氏はネパール大地震の発生当初から現地に入り、被災から復興へと歩む人々の姿を感動と共感をもって記録し続けています。大地震に襲われ生きていく困難と絶望を乗り越え、復興を目指し、そこで暮らす家族の絆を描いたこの映画から、私たちは、全てを失った中で生きる人間のあるべき姿を学ぶことが出来るでしょう。この映画は自主上映作品で、石川梵氏が持てるすべてを投げ打って制作した作品です。ご覧いただくことが支援につながります。ぜひご鑑賞ください！

Special Supporter



関野吉晴
(グレートジャーニー)

野口健
(登山家)



日 時 平成28年12月3日(土曜日)
午後1時30分~4時(午後1時開場)

場 所 諏訪市文化センター 第一集会室(定員80名)

会 費 500円(資料・お茶代等)

申 込 み 11月1日(火)から、電話か直接窓口で申し込んでください。
当日直接会場でも可。

(申)・(問) 諏訪市公民館 電話 0266-53-6219
日本・ネパール会長野 電話 090-3558-0018(会長 小林次夫)

<会場地図>



—諏訪市文化センターへの道順—

徒歩：JR 上諏訪駅から歩いて 13 分

JR 上諏訪駅を出て右手、国道 20 号線を東京方面へ。諏訪 1 丁目信号を右折し、大手 1・2 丁目信号を右折、湖柳町信号左折、文化センター信号右折。

自動車：国道 20 号線経由は歩行ルートと同じ。

湖周線：湖岸通り 5 丁目の信号から湖柳町信号を右折、文化センター信号を右折。

駐車場は文化センター奥をお願いします。

諏訪市湖岸通り 5-12-18 電話：0266-58-4807



石川 梵 プロフィール

ドキュメンタリー作家・写真家。ネパール地震をテーマにした初監督作品、映画「世界でいちばん美しい村」を今冬公開。人間と自然の共生をテーマに撮影を続ける。2014 年「祈りの大地」（岩波書店）、「伊勢神宮 式年遷宮と祈り」（集英社）を刊行。写真集「The Days After-東日本大震災の記憶」で 2012 年度日本写真協会作家賞を受賞。

2015 年 4 月 25 日、ネパールを未曾有の大地震が襲いました。取材のため大地震の 3 日後に現地に入った私は、ヒマラヤの山奥にある震源地の村に向かいました。

村の家屋は全壊し、孤立していました。その光景は私が長年取材してきた東北の被災地と重なりました。

しかし、悲惨に見えた村は、愛と祈りに満ち、人々が絆で結ばれた素晴らしい村でした。この映画のタイトルにあるようにその風景もそこに住む人々も、正に「世界でいちばん美しい村」だったのです。私はこの素晴らしい村を窮状から救いたいと、報道と支援を続け、そしてドキュメンタリー映画をつくることを決めます。

映画の力で世界の注目を集め、この村を救いたい、という意図と同時に、この素敵な村のことを日本の人々に伝えたいからです。

この映画はいわゆる地震の悲惨さを描いたものではありません。地震はあくまで背景です。美しい大自然のもと、強い絆に結ばれた家族が、さまざまな困難を笑い飛ばすように明るく生きていく姿を描いた物語です。夫を失った看護師が「神も仏もいるものか」とつぶやき絶望の淵から、また光を見出し、村人みんなに支えながら信仰を取り戻していく物語です。

その姿には日本人である私たちが忘れかけていた大切なものを感じることでしょう。そして人にとって何が幸せなのか、ということも問いかけてくるはずです。

殺伐とした競争世界に生きる現代のわたしたちですが、多くの人がこれでいいのだろうか、と疑問を感じていることもあると思います。

ネパールのこの村や、そこに住む家族の姿を通して、「なつかしい未来と希望」を感じていただければ幸いです。

石川 梵

石川梵氏にはお忙しい中、今回の企画に快く応じていただき、監督特別トークと「世界でいちばん美しい村」の上映会を諏訪の地で実現することができました。皆さまのご来場をお待ち申し上げます。（主催者）